

品目:ホウレンソウ / 外葉の葉脈間の退色



品種:不明 サラダ用

発生時期:2003.3

原因:Mnの欠乏症。・・・土壌中のMn含有量が少ない?

対応策:

・Mnの葉面散布。(しかし、障害が発生しないような土づくりをすることが望ましい。)

補足:Mn欠乏が発生する原因には、下記が挙げられる。
 ①土壌のpHが高いため、土壌中のMnが不溶化している。
 ②土壌中のMn含有量が少ない。
 ③他の元素との拮抗作用により、吸収できない。

作物体の無機成分量

	P	K	Ca	Mg	Fe	Mn	Zn
	(%)					(ppm)	
正常	0.54	10.19	0.88	0.97	88	22	74
軽症	0.49	6.83	0.83	0.82	69	1.7	40
重症	0.49	6.77	0.83	0.85	65	ごく少	38

※Kも軽症および重症株で少ないが、症状がK欠とは異なる。

土壌の化学性

	pH	EC	K	Ca	Mg	Ca/Mg	Mg/K
		(mS/cm)	—(me/100g)—		—(me比)—		
正常	6.5	0.81	1.51	19.2	4.4	4.4	2.9
重症	6.6	0.49	0.82	18.6	4.6	4.0	5.6

(CaO, MgOの分析は、酢安振とう法(簡易分析)による。)

品目:セルリー / 心葉の葉先が褐変



品種:コーネル619(サミットコーネル)

発生時期:2001.5月上旬~6月

原因:分析値からは不明だが、Ca欠乏症の可能性もあり。

(∵いずれの株も外葉部と心葉部の差が他の要素に比べて大きい)

対応策:土壌のECを確認し、塩類が集積しているようであれば除塩する。
 かん水量を増やす。

葉の無機成分量

		P	K	Ca	Mg	Fe	Mn	Zn
		(%)					(ppm)	
正常株	外葉	0.55	5.06	1.58	0.19	106	189	53
正常株	心葉	0.58	4.86	0.48	0.18	131	141	53
障害株	外葉	0.53	4.98	1.60	0.18	103	250	47
障害株	心葉	0.58	4.32	0.47	0.17	136	137	46

※供試試料は同一圃場のもの